文部科学省認可通信教育

とっくりがま

発行：放送大学山口学習センター　2025 年 4 月発行　第 110 号

― 目次 ―

■山口学習センター客員教員寄稿

『お世話になりました ～５年間を振り返って～』　客員教員 千々和一豊 ・・・・ 1

『放送大学山口学習センターでの５年間』　客員教員 金谷　匡人 ・・・・ 2

『学びの本質がここにある』　客員教員 大石由起子 ・・・・ 3

■卒業生のメッセージ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

■『謝辞』　卒業生代表　松村　昌代 ・・・ 5

■事務室からのお知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

■４月～６月のスケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

＜ 機関誌「とっくりがま」の由来 ＞

明治 14 年、小野田セメント製造会社（現・太平洋セメント株式会社）が創立され、明治 16 年から焼成炉 4 基の窯によって生産が始まりました。高さ 9.6 m、煉瓦を積み上げて作った立窯で、徳利に似ていることから「徳利窯」と呼ばれるようになりました。日本近代の洋式セメント製造法を伝える唯一の遺構で、重要文化財に指定されています。

山口学習センターが生涯学習の中核として、ますます発展することを願い、この「徳利窯」にあやかり、機関誌名を『とっくりがま』と命名しました。

放送大学
山口学習センター

〒753-0841　山口市吉田 1677-1
（山口大学吉田キャンパス大学会館 1F）
T　E　L ： 083-928-2501
F　A　X ： 083-928-2503
E-mail ： yamasc35@ouj.ac.jp
ウェブサイト： https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/

学習センターの利用時間

◆ 9:30 ～ 17:30

2025 年 4～6 月の閉所日

◆毎週月曜日、祝日
◆特別閉所日: 4 月 30 日(水)
5 月　1 日(木)～ 2 日(金)
5 月　6 日(火)

『お世話になりました ～5年間を振り返って～』

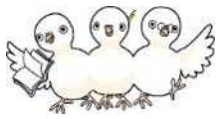
山口学習センター客員教員　千々和（ちぢわ） 一豊（かずとよ）

本年3月をもちまして、客員教員を卒業することになりました。令和2年度より5年間、杉浦（現）センター長、岡村（前）センター長をはじめ放送大学山口学習センターの事務職員の皆様にはたいへんお世話になりました。また、私が担当した面接授業や公開講座、限定セミナー等に熱心にご参加いただいた学生の皆様にも感謝と御礼を申し上げます。

5年前、最初に客員教員のお話を頂いたときは、授業ではどういう学生さんを相手にするのかわからず、どういうテーマで、どういう程度の内容をお話しすべきなのか戸惑いを感じての出発でしたが、学生の皆さんと接するうちにだんだんと要領がわかってきました。授業のテーマに関心と興味をもってもらうため、とにかくわかりやすく、理解が深められるような（親切な！）授業（配布）資料の作成に心掛けることにしました。物事を理解し攻略する方法は様々でしょうが、私はどちらかというと外堀を埋めてから本丸を攻略するタイプなので、時間を要するという欠点はありますが、目指すべき授業資料の作成という外堀を埋める作業を通して、新しい様々な視点から学びを深めることができたのはたいへん有意義でしたし、充実した楽しい時間を送ることができたと思っています。

私が放送大学に加わった令和2年の4月は、前年12月に中国で新型コロナウィルスの発生が確認されたあと、日本国内でも急速に感染者が増加し、瞬く間にパンデミック（国境を越えた感染爆発）が報告されるようになった時期でした。感染経路を絶つためSocial Distance（三密回避）が叫ばれ、学校現場をはじめレストランや劇場など多数の者が集まるところでは、その対応が求められるようになっていました。放送大学では予定されていた面接授業や公開講座は急遽中止となりました。私は6月に面接授業を担当することになっていて授業の資料作り等を進めていたのでとても残念でした。また、山口学習センターでは、コロナ対応としてリモート（Zoomソフト）で授業を行う限定セミナーが始まりました。初めて行う限定セミナーで、私の専門である地質学の基礎分野である地質図学の演習をテーマに取り上げたのですが、どうしたことか授業の途中で回線がぷっつりと切れるアクシデントがあり、その対応(回復）に時間がかかり、授業も中途半端で終わってしまうという苦い想い出となりました。また、テーマをより深く理解しようと思えば、演習（作図や計算）は欠かせませんが、受講生の理解の程度を確認しながら進める必要がある演習をリモート授業で行うことの難しさも痛感し、以後演習は公開講座で行うことにしました。

学ぶことは、解決の糸口を見つけたり、新たな発見に繋げたり、自分の可能性を広げたり、豊かで楽しい社会を実現する上で欠かせません。皆さんとともに、私も学ぶことを続けていきたいと思っています。



『放送大学山口学習センターでの５年間』

山口学習センター客員教員　金谷（かなや） 匡人（まさと）

令和２年、県文書館を定年退職した私は再任用の道を選ばず、直接社会教育・地域教育に携わってみたいとの思いを抱いていたところ、たまたまお話をいただいた放送大学山口学習センターのお世話になることになった。いきなりコロナ禍に襲われて様々なことに大きな制約が生じたが、放送大学はインターネットや放送によってその強みを十分に発揮し、学生さん方も順調に成果をあげられたものと思う。

とはいっても対面講座の魅力は大きく、再開できるようになってからはそれなりに意を注いだ。面接授業では令和３年に「江戸時代の暮らしとその舞台」（町や村の江戸時代の様子を座学で歴史的に学んでから実際に山口の町を歩き、現地で確認し、考えた）、令和４年に「江戸時代の暮らしと環境」（台道村の江戸時代末期の詳細な地誌を例として、当時の人々の暮らしを考えた）をおこない、ようやくコロナ禍もあけて全国から受講生を呼べるようになった令和５年には上関町教育委員会の全面的な協力を受けて「海峡のまち上関の歴史と文化」を現地で開講した。上関は自分の研究の原点のようなところであり、また地元からも近いので、全国からの受講生と思い切り話ができたことは自分にとっても幸せだった。

月１回の公開講座には学生以外の方も多く参加していただき、こちらも自分としても得るものは大きかった。「御国廻御行程記」「行程記」という殿様のガイドマップ（江戸時代中期の領内巡視や参勤交代に用いたもの）に書かれた文字を解読しながら机上旅行するといった講座だったが、やはりそこには地域ごとの個性（特徴）がみられ、予習のために現地を巡ることでそれを体験することもできたし、受講生のなかには講座後にそこをたどり歩くことを趣味にされた方もあった。コロナ禍もあって実際に扱えた地域は山陽道の椿峠から小郡津市までと萩往還（萩から三田尻まで）、石州街道の仏坂道（萩から田万川まで）にとどまったが、これらのガイドマップは山口県を一周する充実したものなので、また何かの機会があれば皆さんと違う場所をたどってみたいと考えている。

そのほか、山口学習センターと県内の市町等が連携して行う公開講座も、振り返ってみると県立図書館３回、山口市２回（阿東・小郡）のほか周南市・山陽小野田市・防府市・下松市と計９回おこなった。この講座は何かと便利な県央部に限らず、県内各地で積極的に実施したらいいと思う。放送大学と地域を結ぶ講座は、放送大学で学ぼうという人を発掘するいい機会だ。むしろ周辺の不便な地域にこそ、放送大学の強みが発揮できるだろう。また、地域で学ぶ人たちのネットワークも、コロナ禍を受けて縮小した感があるが復活を願いたい。それがまた学びの輪を広げる核になるように思う。

この５年間、むしろ私の方が皆さんに生涯学習、自ら学ぶ姿勢の尊さを学んだ。何らかの阻害要因があって勉強が嫌いになったり、学ぶことから遠ざかったりすることはあったかもしれないが、学ぶことの喜びはだれしも持っている。できなかったことができるようになること、またわからなかったことがわかるようになることの喜びはスポーツにも通じる普遍的なものだ。そのことを再認識させてもらった５年間だった。

こちらが何か話したとき、受講生の何らかの琴線に触れて目がきらりと輝く瞬間は、お互いにとって幸福な瞬間だ。学生さんのなかには困難を乗り越えられ、また乗り越えようとされている方も多かろう。これからも学び続け、目を輝かせ続けて欲しいと思う。

５年間ありがとうございました。

『学びの本質がここにある』

山口学習センター客員教員　大石（おおいし）　由起子（ゆきこ）

放送大学客員教員として、2024 年度に臨床心理学の科目を担当させていただきました。

今年度の面接授業「カウンセリング入門」では、カウンセリングの基本的な理論と技術について講義した後に、ロールプレイのデモンストレーション（実演）と、受講者によるロールプレイの体験学習を取り入れました。ロールプレイとは役割演技とも表現されますが、カウンセラーとクライエント、医師と患者のように役を設定し、その役になって即興で演じてみることです。一般的な演劇のような台本がありません。従ってフィクションではありますが、カウンセラーとして相手の話を聴きながら、次にどのようなことを尋ねるのか、どのような助言や情報提供を行うのかなど、その瞬間瞬間で考えていくことが必要とされます。またクライエント役も、架空の相談事ではあるけれど、相手(カウンセラー)の表情や発言にほっとしたり、困惑したりと、ロールプレイの場での感情や思考はリアルな体験となります。

「他者の話を聴く」ことを基本とする「カウンセリング」の技術をどのように学ぶのかと考えた時、以下のようなプロセスが私の中に浮かびました。文献を読み講義を聞いて、カウンセリングの基本理念や実践のスキル(技術)について知ること、そのあとにカウンセリングの実演を観て、聞いて実践のイメージを持つこと、そして自分でカウンセラー役あるいはクライエント役をしてみて自身の体験を通して学ぶこと。さらにはその体験を講師と共に振り返って理論やスキルの確認をし直してみることです。今回の 2 日間の面接授業にこのプロセスを盛り込みました。

当日の参加者の中には、職業としてカウンセリング業務やそれに近い実践を行っている方、実際にカウンセリングを受けた経験から興味を持った方、ボランティアとして対人援助を行っている中で必要性を感じた方など、様々な経験・ニーズを持った方がおられました。

従って、ロールプレイ後の振り返りの時の質問も、日常の経験に裏打ちされた深みのあるもので、熱気と活気があり、応答する私も充実感を感じる 2 日間になりました。

面接授業だけでなく、ゼミや公開講座などでも感じることですが、放送大学の場には「学びの本質」があるように思います。私が考える学びの本質とは、自発的に、興味のあることについて、文献から、教員から、実験や調査や実践を通して、新しい発見をすることです。

昨今の大学が学生にとって、ややもすると「行かねばならない」所になって、学生から学ぶ主体性や意欲が乏しいと感じられることが多い中で、放送大学に来ると新鮮に感じます。それは学生の皆さんから主体的に学ぶ意欲と熱意を感じられるからだと思います。

山口学習センターでの教員としての勤務は、残念ながら 2024 年度までになりますが、転居先の県で、また放送大学の学生さんたちに出会えることを願っております。短い間でしたが、受講者の皆さん、山口学習センターの職員の皆さん、大変お世話になりました。

おめでとうございます

■ **教養学部**　（44 名）

生活と福祉コース‥‥‥‥ 13 名
心理と教育コース‥‥‥‥ 16 名
社会と産業コース‥‥‥‥‥２名
人間と文化コース‥‥‥‥‥４名
情報コース‥‥‥‥‥‥‥‥６名
自然と環境コース‥‥‥‥‥３名

■ **大学院**　（３名）

人間発達科学プログラム‥‥‥‥１名
臨床心理学プログラム‥‥‥‥‥１名
人文学プログラム‥‥‥‥‥‥‥‥１名

卒業生のメッセージ

◇今回で 5 度目の卒業にたどりつけました。初入学より 13 年経過しての卒業ですが、残り 1 コース、集中力を切らさず完遂したいと思っております。（最後に残した情報コース、私にとっては最難関です）
【社会と産業コース　70 代】

◇放送大学大学院で学べて本当によかった。人生のセカンドステージへと進むことができました。よき仲間にも恵まれて、たくさんのいいご縁をいただきました。ありがとうございました。
【臨床心理学プログラム　40 代】

◇小学生と中学生の子育てや夫の単身赴任と、勉強を続けることが大変と思うときもありましたが、無事にこの日を迎えることができ、嬉しく思います。学んだことを生かしつつ、また放送大学に戻ってきたいと思います。
【心理と教育コース　30 代】

◇８年がかりで卒業することができました。放送大学で学んだことは、仕事で役立った以上に、私の人生をより豊かにしてくれたように思います。温かく見守ってくれた家族、学習センターの皆様に感謝です。ありがとうございました。
【心理と教育コース　50 代】

◇放送大学ならびに山口学習センターには、定年退職 2 年前から大学院修士選科生として 2 年、修士全科生 2 年として 4 年間お世話になりました。同時に、学芸員の単位も取得することができて、現在学芸員として働いています。仕事をしながらの学びは辛くもあり、忙しくもありましたが、40 年前の大学時代より充実していました。ありがとうございました。
【人文学プログラム　60 代】

◇在学 14 年間、学習を重ねるも、これといった諦念と安堵もあまり得られず。潮時かと思っています。これからは、クラインガルテンをゆったりと営んでいきたいと思っています。放送大学のますますのご発展をお祈り申し上げます。
【自然と環境コース　70 代】

◇卒業するまでの 4 年間の間、様々なことを経験し学びを得ることができました。学んだことを生かし、日々精進して参ります。
【情報コース　20 代】

◇教養学部人間と文化コースを修了しました。今回は、卒業研究に取り組めなかったのは残念でした。次年度は社会と産業コースに再入学予定ですが、今度はまた卒業研究に取り組みたいと思っています。
【人間と文化コース　50 代】

◇初めは仕事をしながらの学習に不安もありましたが、自分のペースで勉強でき、卒業まで辿り着けたことで自信にも繋がりました。学ぶことの楽しさが再認識できた良い機会でした。今後も生涯学習を続けていきたいです。
【人間と文化コース　30 代】

◇新型コロナウィルス感染症等、色々とありましたが、無事卒業することができました。長かったようであっという間の楽しい学びの日々でした。面接授業では、大学の先生方にご講義頂き、センターの皆様には事前準備やサポート等で、大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。
【人間と文化コース　30 代】

◇在学中は、大変お世話になりました。なかなか思うように学習を進めることが出来ないときもありましたが、対面授業で出会った学生の方や、学習センターの方々の励ましやサポートのお陰で、認定心理士の資格をめざして取り組むことが出来ました。卒業というひとつの節目は、最終学歴の更新となりますが、今後も最新学習歴を更新できるよう努力していきたいと思います。
【心理と教育コース　50 代】

◇文化科学研究科　人間発達科学プログラム　に所属し、四苦八苦しつつなんとか修了の日を迎えることができました。一人では、とてもゴールにはたどりつけませんでした。ご指導いただいた先生方、ゼミの皆様を始め、学びの楽しさを教えてくださったすべての方々に感謝しています。
【人間発達科学プログラム　60 代】

『謝辞』

卒業生代表 教養学部 自然と環境コース　松村 昌代

本日は教職員の皆様、ご来賓の皆様のご臨席の下、このように心温まる卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援のもと、本日無事卒業を迎えることができましたことを卒業生一同、心より御礼申し上げます。

私が最初に放送大学に入学したのは 22 年前、当時参加していた県民講座の仲間から勧められたのがきっかけでした。短大卒で以前から四年制大学を卒業したいと思っていた私は、県民講座のテーマでもあり最も興味のあった『生活と福祉専攻』の 3 年生に編入学いたしました。そして、仕事や家事に追われつつも学びを進め、無事卒業することが出来ると、次の目標が“全コースを卒業すること”になりました。しかし、だんだんと進むにつれて苦手分野を含むコースとなり、授業内容の理解も難しく、認定試験を落としてしまうこともありましたが、この度ようやく最後のコースを卒業することができました。

現在は単位認定試験もオンラインになったので、学習センターを訪れる機会も減りましたが、小野田にあった頃から、面接授業や単位認定試験に通い、また、研修旅行にも参加して、年代や立場の違う方々との交流を深められたことも意義深いものでした。こうして、放送大学生活を送る中で学ぶことの楽しさを改めて知ることができた私は、これからも様々な形で生涯学び続けていきたいと思っております。

最後になりましたが、お世話になった先生方、事務局の方々のご健康とご活躍、そして、放送大学のますますのご発展を心から祈念いたしまして、お礼の言葉といたします。

本日は誠にありがとうございました。

（令和７年３月 30 日　学位記授与式）

事務室からのお知らせ

✧学習センターの利用について

・事務室窓口業務　　9:30～17:30

・図書・視聴学習室　　9:30～17:30　放送授業の視聴は 16:00 までに入室（12:00～13:00 は閉室）

※利用時間等が変更となった場合は山口学習センターのウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。

✧地震・風水害等による臨時閉所について

発令地域	発令時刻	警報内容	閉所	備考
山口市	7:00	各特別警報 または大雨、洪水、暴風、大雪等のいずれか	14:00 まで	開所後に発令の場合は状況に応じて閉所
	13:00	上記警報発令中	終日	

〔詳細は、「2025 年度 利用の手引き」をご参照ください〕

✧客員教員の紹介

山口学習センターでは、所長と 6 名の客員教員が学習の方法、学習の進め方の相談や放送授業科目の学習支援に応じます。また、各専門分野でのゼミや公開講座も開催します。詳細については決まり次第、学習センターウェブサイトおよび掲示板でお知らせします。**学習相談をご希望の場合は事前に「学習相談予約票」をご提出ください。**

客員教員	専門分野	学習相談日時	
		第 1 学期	第 2 学期
杉浦　崇夫 （山口学習センター所長）	運動生理・生化学	毎日（水曜日を除く） 10:00 ～ 17:00	毎日（火曜日を除く） 10:00 ～ 17:00
阿部　新 （山口大学・教授）	環境経済学	金曜日　9:30 ～ 12:30	
清水　満幸 （前　萩博物館・館長）	民俗学	水曜日　9:30 ～ 12:30	
長谷　和久 （山口大学・講師）	社会心理学	土曜日　9:30 ～ 12:30 （月 2 回）	
西尾　幸一郎 （山口大学・准教授）	住居学	金曜日 13:00 ～ 16:00	木曜日 13:00 ～ 16:00
野村　厚志 （山口大学・教授）	情報処理学	木曜日　9:30 ～ 12:30	
横山　和平 （山口大学・名誉教授）	土壌微生物学	水曜日　13:30 ～ 16:30	

✧システムＷＡＫＡＢＡについて　重要

システム WAKABA（放送大学教務情報システム）は、**大学からのお知らせ**を始め、**放送授業のインターネット配信**、**通信指導提出**等学習に関する情報を取得できます。

◎【重要】パスワードの変更について

◇**入学生の方**…システム WAKABA を利用するには初期パスワードの変更が必要です。入学許可書が届いたらまずは**初期パスワードを変更**してください。

＊　https://sso.ouj.ac.jp/webmtn/LoginServlet

◇**在学生の方**…初期パスワードを変更していない場合、システム WAKABA を利用できません。また、パスワードを忘れてしまった場合は、以下のいずれかの方法でご連絡ください。

＊　山口学習センターへ**来所**（対面のみ対応）
＊　学生サポートセンターへ**電話**（TEL：043-276-5111）
＊　教務課教務係へ**メール**（e-mail：kyomuka@ouj.ac.jp）

本人確認の上、**初期パスワードに再設定**しますので、速やかに初期パスワードを変更してください。**翌日 6 時**までに変更しなかった場合、再度システムが利用できなくなりますのでご注意ください。

◎各種変更手続きについて

所属コース、所属センター、住所、氏名等の変更手続き、および休学、復学、退学等の届け出については、システム WAKABA で行うことができます。また、「学生生活の栞」の巻末にある様式またはシステム WAKABA「キャンパスライフ→各種届出・申請様式」からダウンロードして郵送でも提出できます。

✧キャンパスメールを確認してください

キャンパスメールは、Web ブラウザを利用した電子メールシステムです。下記メールアドレスが学生全員に割り振られます。山口学習センターから連絡手段としてメールを送信いたします。**定期的にキャンパスメールを確認してください。**

キャンパスメールアドレス：　学生番号（ハイフン除く半角 10 桁）@campus.ouj.ac.jp

※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用の携帯メールアドレスなどへ自動転送するには、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」の「キャンパスメールの自動転送設定方法」をご参照ください。

〔詳細は「学生生活の栞」学部 P115、大学院 P115 をご参照ください〕

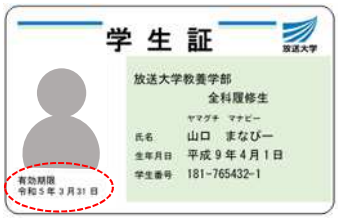
✧学生証について　重要

◇**入学生の方…『入学許可書』**を事務窓口までお持ちください。本人確認の上、学生証をお渡しします。継続入学の方は旧学生証もお持ちください。新しい学生証と交換します。

※注意　顔写真が未登録の方は発行できませんので、システム WAKABA で直接登録、または写真票を大学本部学生課入学・履修係に郵送（発行までに約 2 週間～3 週間）で、手続きを行ってください。

◇**在学生の方…『有効期限の切れた学生証』**を事務窓口で新しい学生証と交換します。
交換は 4 月 2 日（水）以降になります。

有効期限をご確認ください！
令和 7 年 3 月 31 日またはそれ以前になっている場合は更新が必要です。



※注意　氏名等の変更をした場合は学生証の再発行手続きが必要です。（手数料：500 円）

〔詳細は「学生生活の栞」学部 P23～P25、大学院 P34～P37 をご参照ください〕

✧無線 LAN（Wi-Fi）の利用について

山口学習センターでは、**事前申請**することにより、放送大学が提供する無線 LAN（Wi-Fi）をご利用いただけます。申請方法は 2024 年 10 月からオンライン申請となりました。

1．**サイバーセキュリティ研修の受講**
システム WAKABA→放送大学自己学習サイト→「情報セキュリティ研修（学生用）」を受講してください。小テストに合格すると「修了証」が発行されます。

2．**利用申請（オンライン）**
システム WAKABA→キャンパスライフ→各種届出・申請様式→「無線 LAN 利用申請（オンライン）について」の参考 URL から申請してください。申請後、ID、パスワードが表示されます。

3．**学習センターで無線 LAN（Wi-Fi）接続**
ご自身の端末にて ID とパスワードを入力して無線 LAN（Wi-Fi）に接続してください。

〔詳細は「学生生活の栞」学部 P116～P117、大学院 P116～P117 をご参照ください〕

✧学生教育研究災害傷害保険（学研災）について

学生教育研究災害傷害保険（学研災）は、加入者が在籍する大学の教育研究活動中に被る事故に対する補償を目的とした保険で、全ての種類の学生が加入することができます。

保険金の支払い対象は、面接授業中や学校行事に参加している間、大学が認めた学生団体活動中、その他大学の施設内にいる間に被った事故等です。加入は任意ですが、面接授業の中には加入者を対象とする科目もありますので、面接授業時間割表の【その他（特記事項）】でご確認ください。

各学習センターで加入することができますが、保険の効力は加入した日の翌日からとなりますので、ご注意ください。

〔詳細は「学生生活の栞」学部 P129～P130、大学院 P129～P130 をご参照ください〕

✧Web 通信指導について

通信指導は、郵送提出科目を除き **Web 通信指導による提出**のため、問題冊子の送付はありません。

通信指導の解答は、必ず放送大学本部へ**提出期間内に**提出してください。期限後の提出や未提出は評価対象になりません。

答案を提出し、合格しないと単位認定試験を受験することができません。

◎Web 通信指導による提出が困難な場合

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン等電子機器の操作が困難等の事情により、Web 通信指導による提出が困難な場合は、変更願受付期日までに単位認定試験の受験場所を学習センターにしている場合に限り、問題冊子を送付します。問題冊子の送付時期は 4 月下旬です。

◎提出期間

Web 通信指導による提出（一部科目を除く）	**5 月 8 日（木）10:00 ～ 5 月 28 日（水）17:00** 利用するパソコン及びネットワーク環境に起因するトラブルにより提出が間に合わなかった場合でも、未提出扱いとなりますので、余裕をもって提出（送信）してください。
郵送による提出※	**5 月 14 日（水）～ 5 月 28 日（水）本部必着** ※郵送提出科目、Web 通信指導による提出が困難な場合に限ります。

〔詳細は、「学生生活の栞」学部 P68～P71、大学院 P72～P77 をご参照ください〕

✧2025 年度第 1 学期 面接授業について

面接授業とは、学習センターなどで直接講師から指導を受ける授業形態です。定員に余裕のある科目（空席のある科目）については、面接授業の追加登録ができます。詳細については別紙『面接授業の追加登録について』を参照してください。

≪ 8 月 23 日、24 日 面接授業（夏季開講科目）のご案内 ≫

山口学習センターでは、第 1 学期の単位認定試験後、面接授業「社会における ICT」を開講します。
本科目は試行的な取り組みとして夏季 8 月 23 日（土）、24 日（日）に山口学習センターで開講します。
以下の留意事項を確認の上、科目登録、追加登録するようお願いします。

○第 1 学期の期間での開講ですが、8 月下旬での開講のため、第 1 学期の単位認定および卒業判定の**【対象科目とはなりません】**のでご注意ください。
○単位認定は 11 月以降、システム WAKABA から確認してください。また、成績通知書は送付しません。
○システムの制約上、8 月下旬に発送される第 1 学期成績通知書には、「不合格」と表記されます。
○第 2 学期に同名の科目が開講されていた場合でも、履修登録できません。
○面接授業（夏季開講科目）に関する問い合わせは山口学習センターへお願いします。（学生サポートセンターは回答できません）

〔詳細については授業概要（シラバス）をご確認ください〕

✧卒業研究ガイダンスのお知らせ

2025 年度「卒業研究」の履修を希望される方や興味・関心がある方を対象に、卒業研究ガイダンスを開催します。ぜひ、ご参加ください。

開催日：2025 年 6 月 7 日（土）　13:30 ～ 14:30
会　場：山口学習センター小講義室

✧美術館キャンパスメンバーズ

山口学習センターは、本年度も県立美術館（山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館）が実施する「美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入します。山口学習センターの学生、教職員は当該美術館の普通展示および企画展示（山口県美術展覧会、山口伝統工芸展を除く）を無料で何度でも鑑賞できます。利用する際は、美術館入口で学生証を提示してください。

※学生証を受け取っていない方や有効期限が切れている学生証をお持ちの方は山口学習センターで交付または交換してください。

✧機関誌「とっくりがま」について

山口学習センター機関誌「とっくりがま」を、年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）発行しています。
4 月と 10 月は紙媒体での発行、郵送しますが、7 月と 1 月は Web 発行のみとなります。

✧雑誌バックナンバーについて

令和 6 年度（2024 年度）に図書・視聴学習室に配架した雑誌を事務室前ロビーに配架します。ご希望の方はおひとり 2 冊までご自由にお持ち帰りください。

✧退職のご挨拶

事務職員　緒方　徹朗

今年 3 月 31 日付で山口学習センターを退職することとなりました。

在職期間中に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行、また ChatGPT 等の AI が急速に普及し、私達の学び方・働き方は大きな変化を迎えています。これからも皆様のライフステージでいつでも放送大学が学びの機会を提供できることを願っています。4 年間ありがとうございました。

事務職員　橋本　香

このたび、3 月 31 日付で退職することとなりました。

至らぬ点が多くありましたが、数多くのことを学ばせていただき、これまで関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。大変、ありがとうございました。

これまで培ってきた経験を、今後も活かしていきたいと思います。

皆様のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今まで、本当にありがとうございました。

4月～6月のスケジュール

（2025 年 3 月 25 日現在）

天候や災害等に伴い、スケジュール等変更となる場合があります。
変更が生じた場合は、山口学習センターのウェブサイトに掲載しますのでご確認ください。

4月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	(19)	(20)
21	22	23	24	25	(26)	(27)
28	29	30				

1 日 放送授業開始
4 日 オンライン授業開始
11 日 面接授業空席発表（15:00～）
面接授業科目追加登録事前申請受付開始
（～4 月 16 日 13:10）
17 日 面接授業科目先着申請受付開始
29 日 閉所日（昭和の日）
30 日 閉所日（特別）

【面接授業】
19･20 日　創造・課題解決演習
食品の成分と機能
26･27 日　三島由紀夫の文学と映画

5月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	(10)	(11)
12	13	14	15	16	(17)	(18)
19	20	21	22	23	(24)	(25)
26	27	28	29	30	(31)	

1・2 日 閉所日（特別）
3～5 日 閉所日（祝日）
6 日 閉所日（特別）
8 日 通信指導【Web】受付開始（～5 月 28 日 17:00）
14 日 通信指導【郵送】受付開始（～5 月 28 日【必着】）

【面接授業】
10･11 日　身体を診る～生命を護るために
17･18 日　観光マーケティング
24･25 日　神経発達障害児者の支援
31 日・6/1　レポート・論文の書き方
【ライブ Web 授業】
24･25 日　情報工学応用演習・人工知能

6月

月	火	水	木	金	土	日
						(1)
2	3	4	5	6	(7)	(8)
9	10	11	12	13	(14)	(15)
16	17	18	19	20	(21)	(22)
23	24	25	26	27	(28)	(29)
30						

閉所日　(　) 面接授業･ライブ Web 授業

7 日 卒業研究ガイダンス（13:30～）
10 日 第 2 学期【第 1 回】学生募集出願受付開始
（～8 月 29 日）

【面接授業】
5/31・1 日　レポート・論文の書き方
14･15 日　心理学実験 3
21･22 日　英語の謎を歴史的に解明する
28･29 日　HP 制作で理解する Web の中身
【ライブ Web 授業】
7･8 日　インテリアデザインはじめて講座

編集後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんが楽しく有意義な学生生活を送られますよう、職員一同サポートしてまいります。最後に、ご多用の折、ご寄稿くださった方々に心よりお礼申しあげます。